

2023年2月19日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第65巻第44号(通算3326号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさま ひと とも  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人がみな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつ  
**降誕節**

だい しゅじつれいはい  
**第9主日礼拝**

れいはい ちゅうけいはいしん  
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ  
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しょ しょう せつ  
招きの詞 イザヤ書 41章 8-10節

さんび かみ しめ かん  
賛美歌 21-74番「キリストの示す神を」(©JASRAC)

せい しょ ふくいんしょ しょう せつ  
聖書 ルカによる福音書 9章 10-17節

いの  
お祈り

さんび か ばん に  
賛美歌 21-198番「二ひきのさかなと」(©JASRAC)

メッセージ 「これだけしか/こんなにも」 牛田 匡 牧師

さんび か ばん きやうだんさんびかいいんかい  
賛美歌 21-418番「キリストのしもべたちよ」(©教団讃美歌委員会)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

ささげもの  
献げ物(\*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅく ぶく うしだ ただし ぼくし  
祝福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん ちよさくけんしやうめつ  
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

ほう こく ページ さんしやう  
報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 イザヤ書 41章 8-10節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>8</sup> イスラエルよ、あなたは私の僕 / 私が選んだヤコブ / 私の友アブラハムの子孫。

<sup>9</sup> 私はあなたを地の果てから連れ出し / その隅々から呼び出して言った。 / 「あなたは私の僕。 / 私はあなたを選び、拒まなかった」と。

<sup>10</sup> 恐れるな、私があるあなたと共にいる。 / たじろぐな、私があるあなたの神である。 / 私はあなたを奮い立たせ、助け / 私の勝利の右手で支える。

聖書 ルカによる福音書 9章 10-17節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>10</sup> 使徒たちは帰って来て、自分たちの行ったことをみなイエスに報告した。イエスは彼らを連れて、自分たちだけでベトサイダという町へ退かれた。<sup>11</sup> 群衆はこれを知って、イエスの後を追った。イエスはこの人々を迎え、神の国について語り、治療の必要な人々を癒やされた。<sup>12</sup> 日が傾きかけたので、十二人は御もとに来て言った。「群衆を解散し、周りの村や里に行き、宿をとり、食料を調達するようにさせてください。私たちはこんな寂しい所にいるのです。」<sup>13</sup> しかし、イエスは言われた。「あなたがたの手で食べ物をあげなさい。」彼らは言った。「私たちには、パン五つと魚二匹しかありません。まさか、私たちが、この民みんなのために食べ物を買に行けとでもいうのでしょうか。」<sup>14</sup> というのは、五千人ほどの人<sup>人</sup>がいたからである。イエスは弟子たちに、「人々をおよそ五十人ずつひとまとまりにして座らせなさい」と言われた。<sup>15</sup> 弟子たちは、そのようにして皆を座らせた。<sup>16</sup> イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それを祝福して裂き、弟子たちに渡しては群衆に配らせた。<sup>17</sup> 人々は皆、食べて満腹した。そして、余ったパン切れを集めると、十二籠<sup>かご</sup>あった。

(脚注 a : 別訳「男」)



《先週のメッセージより》2023年2月12日

「その腕で抱きとめるものは何か」より

水谷憲牧師

聖書 ルカによる福音書 5章 12-16節

今回のお話は、「規定の病」を患っている人がイエス様と出会い、イエス様によってその「規定の病」が清められたお話でした。イエス様はその人に「手を差し伸べて、触れ」と書かれています。元のギリシャ語の言葉は「抱きつく、ハグする、しがみつく」という言葉ですから、軽くタッチして触ったのではなく、その人の体全体に腕を回してギュッと抱きしめたというのが、正しい表現でしょう。挨拶の場面でハグすることは世界的にも珍しいことではありませんが、この人は「規定の病」を患っていましたので、そのような状態の人とハグするのは、当時の律法においては「非常識」であり、「律法違反」でした。しかし、そこに奇跡は起きました。「汚れている」と見なされ、社会の中で差別され、孤独の中に絶望していた人が、イエス様と出会い、思いがけず抱きしめてもらって「私はあなたを見捨てない。一緒に生きよう」と言われた。それは暗闇の中に光が射し、倒れていたのに引き起こされ、死んでいたのに生き返り、イエス様に従う者としての新しい命を生き始めるという大きな出来事であったに違いありません。

イエス様はその腕で、相手の人を抱きとめました。私たちの腕は日々、何を抱きとめているのでしょうか。仕事や家族、責任や立場、肩書やお金など、様々なものが私たちの腕の中や、肩の上には載っているような気がします。そしてそれらは「決して手放さないように」と言われているように感じていますが、本当にそうなのでしょうか。何かを掴み、抱きとめるためには、今握り込み、抱え込んであるものを一旦手放す必要があります。イエス様も弟子たちも、何も持っていなかった貧しい人たちでした。だからこそ、いつでも目の前の人を抱きとめることができた。目の前の人困っている様子に、目が行き、心が動くことができたのではないのでしょうか。

私たちがその腕で抱きとめているものは、一体何でしょうか。またこれから抱きとめようとするものは、何でしょうか。世界では今なお戦禍が止まず、さらにトルコ南部では大震災が起こり、多くの被害が出ています。しっかりと腕に抱きとめるべき、本当に大切なものと、そうではないものとを区別できるように、イエス様と共にあって、私たちも目と心を開かれないと願います。そしてこの手の中に握りしめているものも開かれて、本当に大切なものを抱きとめる歩みへと導かれていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 2月12日 降誕節第8主日礼拝

主日礼拝出席 大人4名 中継動画再生数 4回  
 献金 大人4,000円 感謝

◎次週 2023年2月26日(日) 受難説第1主日礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は2/22~4/8です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 ローマの信徒への手紙 5章 15節

聖書 創世記 3章 1-7節

メッセージ 「その実を食べたのなら……」岡嶋千宙伝道師

賛美歌 21-390番(©教団)、21-528番(©P.D.)、21-419番(©JASRAC)、

礼拝はインターネットで中継いたします。礼拝の中で2月の誕生者祝福式を行います。また礼拝後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもどうぞご参加ください。

◎お知らせ

- ・大阪府の新型コロナ警戒信号は、2月から「赤色」→「黄色」に変更されました。しかし、厳しい寒さも続いておりますし、会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・2月26日(日)14時~16時半にかけて、日本キリスト教団八尾教会にて河内地区合同壮年会が開催されます。テーマは前回に引き続き「with コロナ期における教会活動を考える」です。始めに礼拝の時を持ってから、各教会で実施中の感染予防対策を聞き合います。その後いくつかのグループに分かれて、討議の時間を持つ予定です。開催要領は掲示板に掲示してありますので、ご確認ください。参加希望の方はお申し出ください。
- ・2月26日(日)15時から、在日大韓基督教会・大阪北部教会(天神橋筋六丁目駅・下車徒歩8分)にて、第8回大阪韓日教会合同礼拝が開催されます。日本基督教団大阪教区と在日大韓基督教会関西地方会とが共催で、司会や奏楽など役割を分担して、ひとつの礼拝を守ります。事前の参加申込も参加費も不要ですが、献金があります。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2/26	岡嶋伝道師	誕生者祝福式・おにぎり支援 地区壮年会(14時~@八尾教会)
3/5	牛田牧師	ユーカリスト・教会を考える会
3/12	岡嶋伝道師	
3/19	牛田牧師	

日本基督教団関西地方会 日本基督教団大阪教区

**第8回大阪韓日教会合同礼拝**

日本基督教団大阪教区 在日大韓基督教会関西地方会



韓日の教会で、司会や奏楽など役割を分担して、ひとつの礼拝を行います。  
 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら礼拝を行います。

日時：2023年2月26日(日)午後3時  
 場所：在日大韓基督教会 大阪北部教会  
 大阪市北区本庄東2-11-6 TEL 06-6371-1914  
 ※地下鉄谷町線、地下鉄堺筋線  
 天神橋筋六丁目駅下車南出口徒歩8分  
 大阪市営バス34号、本庄西二丁目下車徒歩2分

献金振込先  
 ・関西地方会：ゆうちょ銀行 記号14100 番号29217421  
 在日大韓基督教会関西地方会  
 ・大阪教区：ゆうちょ銀行 記号14130 番号27183711  
 日本基督教団大阪教区事務所

※献金は「学習支援クロスベイズ」「こども食堂てんこもり」へお送りいたします。



主催：在日大韓基督教会関西地方会 / 日本基督教団大阪教区